

施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
 - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止

加工及び接合等の改造はしないでください。

禁止

配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。

禁止

給水ホースが接続されていない場合は、ワンタッチノズルの先端(白い部分)を押さないでください。

警告

器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

取り付け後の通水は、必ずワンタッチノズルに給水ホースを接続した後、行ってください。

禁止

通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ワンタッチノズルの圧迫を行う場合は、操作レバーを確実に開けてからノズルをはずしてください。

禁止

高温の湯が出てやけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。また給水ホースが接続されていない場合は、操作レバーは必ず開けてください。

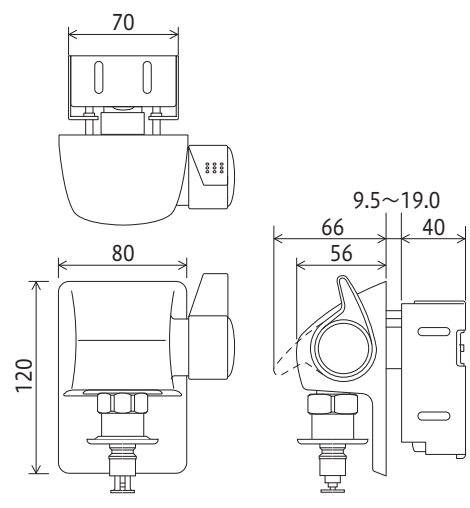
操作レバーが開いた状態でワンタッチノズルをはずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意

器具に強い力や衝撃を与えないでください。

器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

寸法図



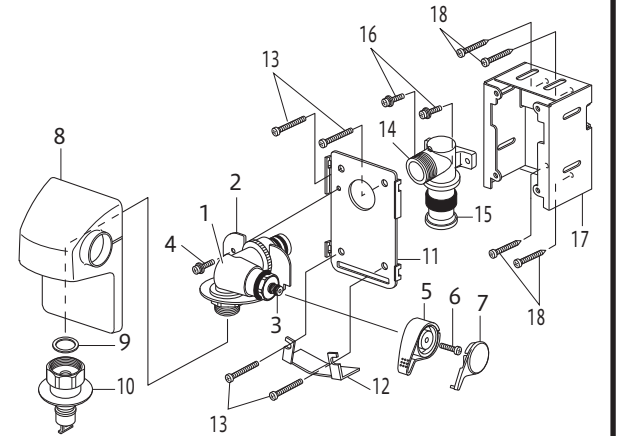
設置条件

- ① 本製品は洗濯機などに付属の給水ホースを接続する専用の給水栓です。
 - ② 使用水圧は0.05~0.75MPaです。
 - ③ 本製品は壁厚み9.5mm~19mmに対応しています。
 - ④ 壁内空間は40mm以上です。
- 【注意】**
高水圧地区では水栓を急閉止すると強い水撃が発生するので、減圧弁を取り付けてください。取り付けないで、接続部がゆるみ、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
-

分解図

この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

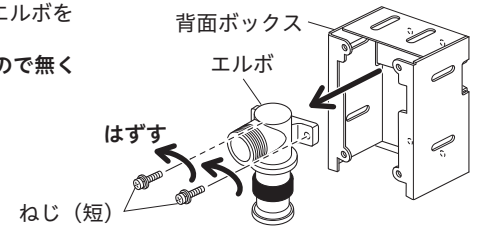
1 水栓本体	11 全面板
2 水栓固定板	12 水受け
3 止水栓棒	13 ねじ(長)
4 ねじ(短)	14 エルボ
5 ハンドル	15 I継手
6 ねじ	16 ねじ(短)
7 ハンドルキャップ	17 背面ボックス
8 本体カバー	18 タッピンねじ
9 パッキン	
10 ワンタッチノズル	



取り付け手順1

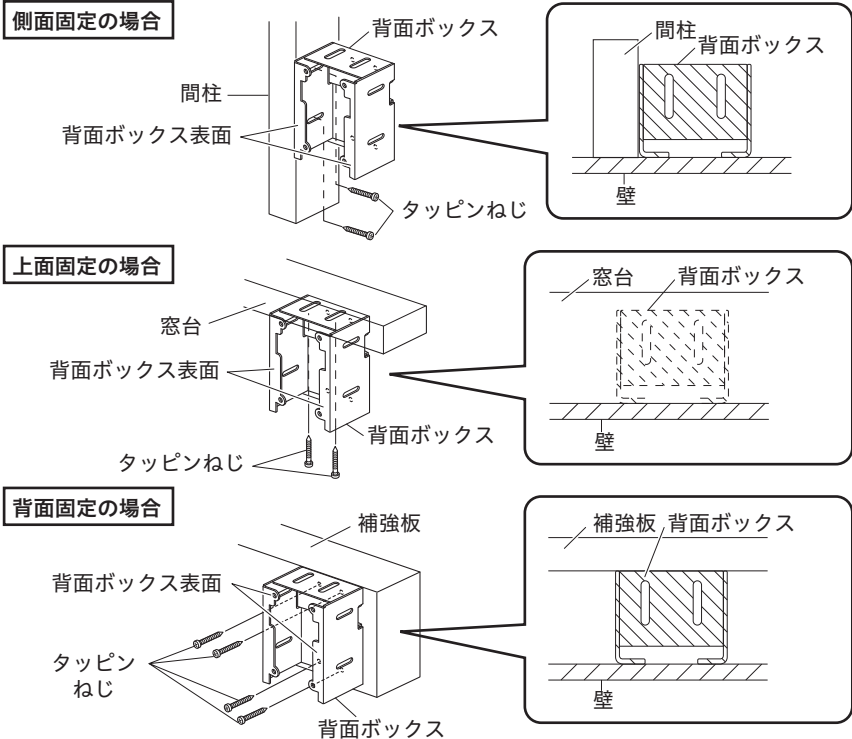
1. 背面ボックスの設置

- ① 背面ボックスからねじ(短)止めされたエルボをはずします。
- 【お願い】** ねじは後で固定するのに使いますので無くさないようにしてください。

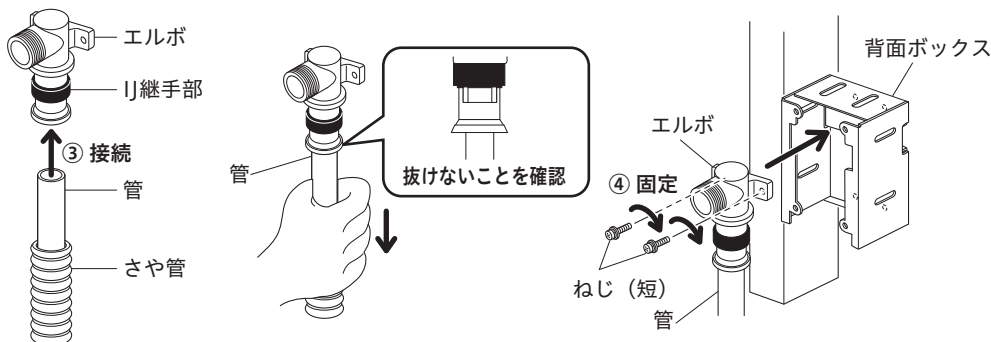


取り付け手順2

- ② 背面ボックスを付属のタッピンねじで間柱・窓台・横桎・補強板のいずれかに固定します。側面固定、上面固定、背面固定の場合があり、壁裏面と背面ボックス表面が接することを想定して取り付けください。

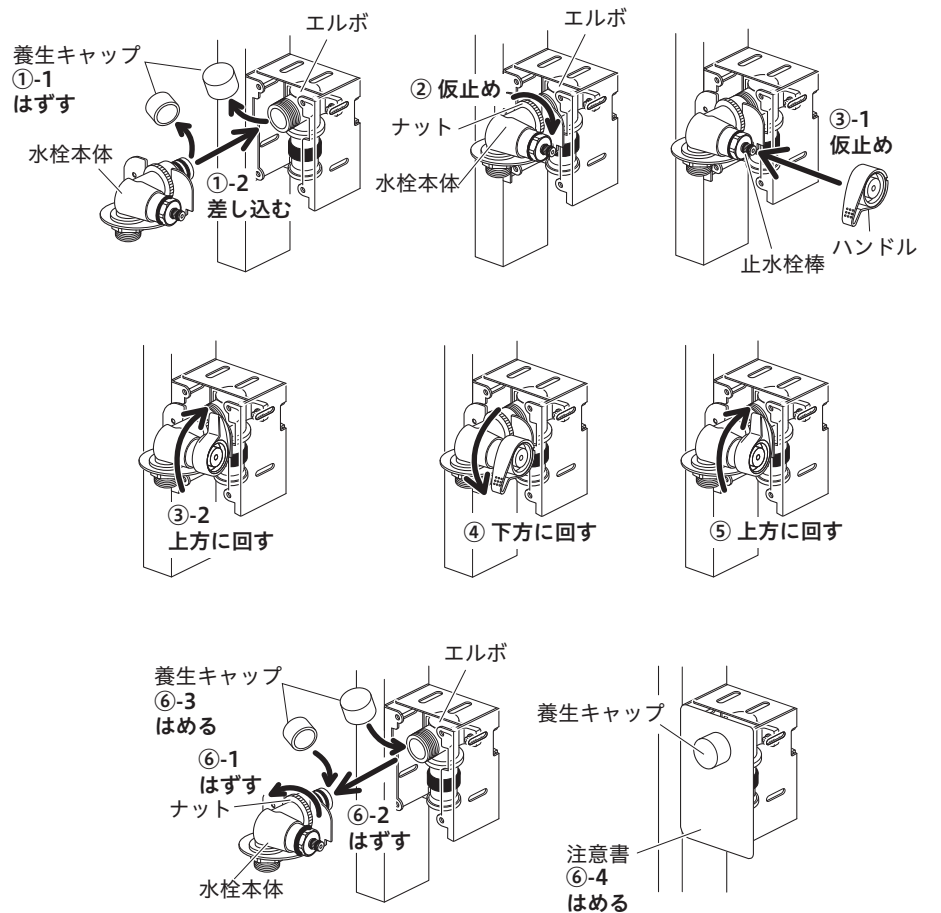


- ③ はずしたエルボのI継手部に管を接続します。
【お願い】 接続する管はさや管などを通して、壁貼り後交換可能な状態で施工してください。管との接続については別紙「継手の取り付け方法」をお読みください。
【注意】 管が確実に挿入されているか管を引っ掛けて、抜けないことを必ず確認してください。確実に挿入されていないと管が抜け、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ④ 管を接続したエルボを①ではずしたねじ(短)2本で背面ボックスに固定します。



2. 耐圧検査をおこなう

- ① エルボ・水栓本体の養生キャップをはずし、水栓本体をエルボに差し込みます。
- 【注意】**
水栓本体はエルボにまっすぐ差し込んでください。斜めに差し込むと漏水の原因となります。
- ② 水栓本体のナットを回し、エルボに仮止めします。
 - ③ ハンドルを水栓本体の止水栓棒に仮止めして、開状態(上方に回す)にし、配管内のエアを抜きます。
 - ④ エアが抜けたらハンドルを開状態(下方へ回す)にし、耐圧試験をおこないます。
 - ⑤ 耐圧試験終了後、ハンドルを開状態(上方に回す)にして水を抜いてください。
 - ⑥ 仮止めた水栓本体をナットを回してはずし、エルボ・水栓本体双方に養生キャップを取り付けます。同梱されている注意書を養生キャップにはめ込みます。
- 【お願い】**
水栓本体は耐圧試験終了後、養生キャップを取り付け、もとの箱に戻しその他の部品と共に施工時まで大切に保管してください。



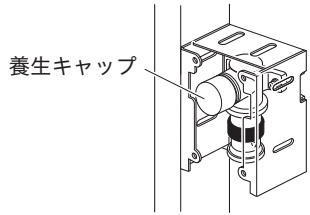
取り付け手順3

3. 壁開口

① 養生キャップがついていることを確認します。

【△注意】

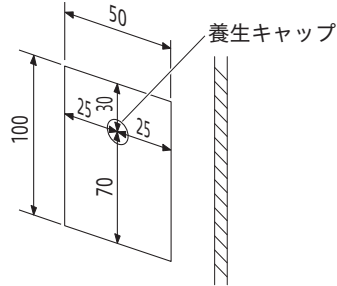
養生キャップがついているか確認してください。養生キャップが付いていないとシール部が傷つき、漏水する可能性があります。



② 養生キャップを基準として、壁に縦100mm・横50mmの開口をしてください。

【お願い】

付属の注意書を使用して、壁を開口してください。施工完了後、開口面積が大きすぎるとカバーで覆えなくなる可能性があります。



③ 壁を貼ります。

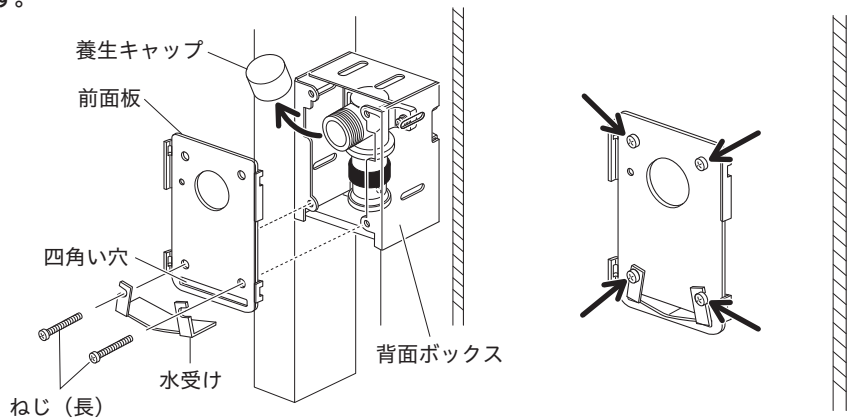
4. 前面板の取付

① 養生キャップをはずし、前面板の下の四角い穴に水受けを差し込み、前面板の四隅にねじ(長)をさし、背面ボックスのねじ穴へ仮止めします。

② 4本のねじ(長)を均一の力で締め付け、前面板を固定します。前面板の丸穴とエルボの中心が合っていることを確認してください。

【お願い】

ねじを締めすぎないように注意してください。板が変形し正常にカバーが取り付けなくなる可能性があります。



5 ページ

5. 水栓本体の取付

① 水栓本体に取り付いている養生キャップをはずします。

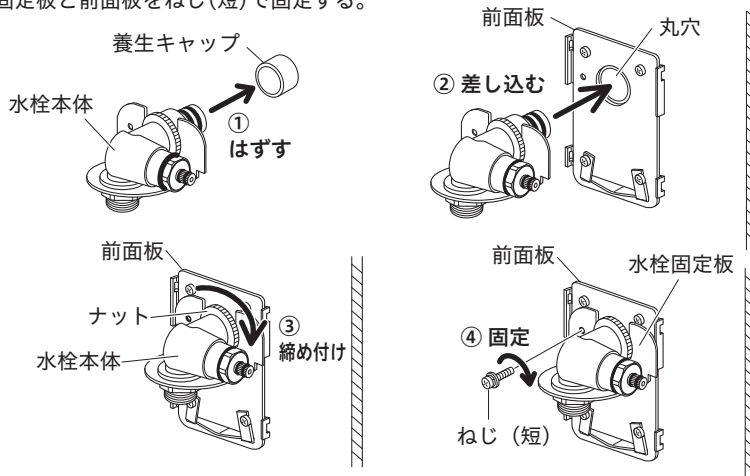
② 養生キャップのついていた部分を前面板の丸穴を通し、エルボの穴の部分に差し込みます。

【△注意】

水栓本体はエルボにまっすぐ差し込んでください。斜めに差し込むと漏水の原因となります。

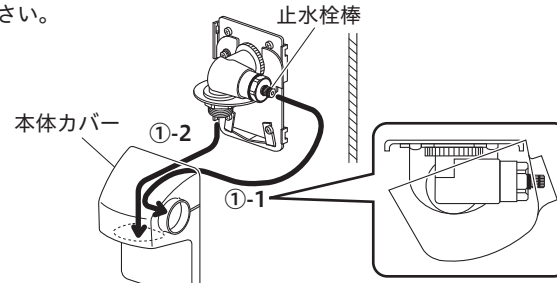
③ 水栓本体のナットを手締めで水栓固定板と前面板があたるまで締め付けます。

④ 水栓固定板と前面板をねじ(短)で固定する。

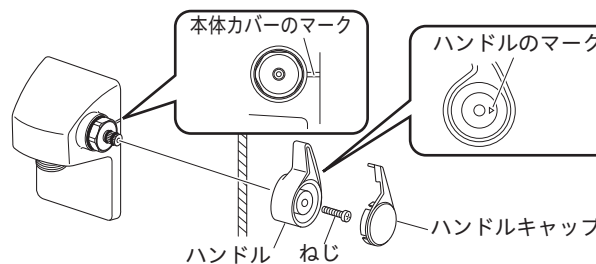


6. 水栓カバー・ハンドルの取付

① 本体カバーを止水栓棒側からはめ込み、そのまま本体カバー下穴を水栓本体の下側がはまるようにみちびいてください。



② 本体カバーのマークとハンドルのマークを合わせてハンドルをねじで取り付け、ハンドルキャップを取り付けます。(水栓本体が全開状態であることを確認してから、ハンドルを取り付けてください。)



6 ページ

取り付け手順4

7. ワンタッチノズルの取付

ワンタッチノズル取り付け時のご注意

【△警告】

- ・本体に給水ホースを取り付けた後は、ハンドルを開けて通水し、水漏れがないか必ず確認してください。元止水湯沸器には使用しないでください。
- ・取り付け後の通水は、必ずワンタッチノズルに給水ホースを接続してから行ってください。給水ホースを接続する前に通水すると、水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・給水ホースが接続されていない場合は、ハンドルは必ず閉めてください。ハンドルを開けると、ワンタッチノズル内に圧力がたまり、ワンタッチノズルの圧逃しを行ってください。
- ・ワンタッチノズルの先端(白い部分)を押さないでください。高温の湯が出てやけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・ワンタッチノズルには緊急止水機能が付いていますので、万一給水ホースがはずれた場合や給湯ホースを付けない状態では、緊急止水機能が働いて通水されません。
- ・接続の場合は、接続する機器(洗濯機等)の給水条件及び施工上の注意事項をよくご確認ください。
- ・水栓以降に接続された設備については保証の対象外となります。
- ・給水ホースをはずす際は、必ずハンドルが閉まっていることを確認してください。通水中に給水ホースをはずさないでください。万一はずれた場合は、ワンタッチノズル内に圧力がたまり、再度取り付ける際、接続しにくい場合がありますので「ワンタッチノズルの圧逃し」を行ってください。

ワンタッチノズルを取り付けます。取り付ける際は、必ずハンドルを閉めてから行ってください。

【△警告】給水ホースが接続されていない場合は、ノズル先端部を押さないでください。漏水で家財などを濡らすおそれがあります。

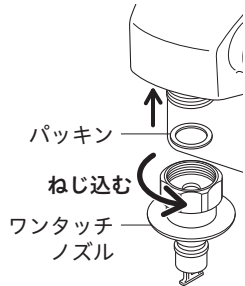
【△注意】締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。

しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

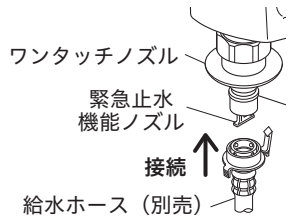
給水ホースが接続されていない場合は、ハンドルを開けないでください。ハンドルを開けた場合、ノズル内に水が溜まったままになりますので水抜きを行ってください。また、給水ホースを接続しない場合においても、同様に水抜きを行ってください。

寒冷地での水抜きについて

配管の元栓を閉めて水抜き栓を開け、給水ホースをはずします。水栓のハンドルを開けて先端ノズル部を指で押し、水栓内部の水を抜きます。



8. 給水ホースの接続 (給水ホースは本製品に同梱されていません。別売です)



その他の接続例
水栓の先端のワンタッチノズルは取りはずしができます。この場合、緊急止水機能は動きませんので注意してください。

G1/2のナット(別売)が接続できます。ホースニップル(別売品番:Z907)が接続できます。



【△注意】ホースニップルの接続先では止水しないでください。ホースが抜けるおそれがあります。

給水ホース(別売)について
【△注意】日本電機工業規格 JEM1206に合致しない給水ホース継手は使用しないでください。通水不良や水漏れのおそれがあります。

7 ページ

取り付け後の点検と清掃

通水確認

【△注意】水栓を取り付け後、耐圧検査を行ってから通水して水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ワンタッチノズルの圧逃し方法

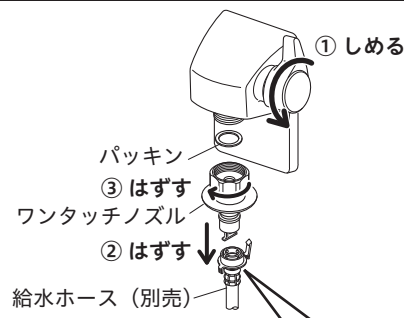
万一通水中に給水ホースがはずれた場合は、ワンタッチノズル内に圧力がたまり、再度取り付ける際、接続しにくい場合がありますのでワンタッチノズルの圧逃しを行ってください。

① ハンドルをしっかり閉めます。

【△注意】

ハンドルは確実に閉めてください。開いた状態でワンタッチノズルをはずすと、水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ② 給水ホースをはずします。
- ③ ワンタッチノズルをはずし、圧を逃します。
- ④ 圧逃し後、給水ホースは下記の手順で取り付けてください。

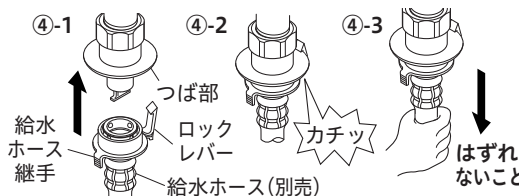


【給水ホースの取り付け】

給水ホース継手を引き下げながら差し込み、ロックレバーをつば部に引っ掛けます。取り付け後、ホースを真下に引っ張って抜けないことを確認してください。

【△注意】

給水ホース取り付け後、確実に接続されていること、接続部から漏水がないことを必ず確認してください。確実に接続されていないと、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。



故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
給水ホースがはずれた状態で水が出ない	緊急止水機能が働いて通水されないしくみになっています。給水ホースを再度取り付けの際、接続しにくい場合がありますのでワンタッチノズルの圧逃しを行ってください。		8ページ 「ワンタッチノズルの圧逃し方法」

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

●修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

☎ 0120-474-161 ※携帯電話からは、0574-55-1191をご利用ください。

水栓の品番をご確認ください	修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています
水栓に貼ってある品番シールでご確認ください。シールの左下が品番です。 [シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください]	技術料…診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用 部品代…修理に使用した部品代 出張料…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

●商品に関するお問い合わせはKVKお客様相談センターにご連絡ください。

☎ 0570-099-552

株式会社KVK

インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

8 ページ

403089-03